

大学に求められる役割

大学は、学術の中心として、**高い教養と専門的能力を培う**とともに、深く真理を探究して**新たな知見を創造**し、これらの成果を広く社会に提供することにより、**社会の発展に寄与する**ものとする。

出典：教育基本法(平成18年法律第120号)第7条第1項

研究のおもしろさと醍醐味

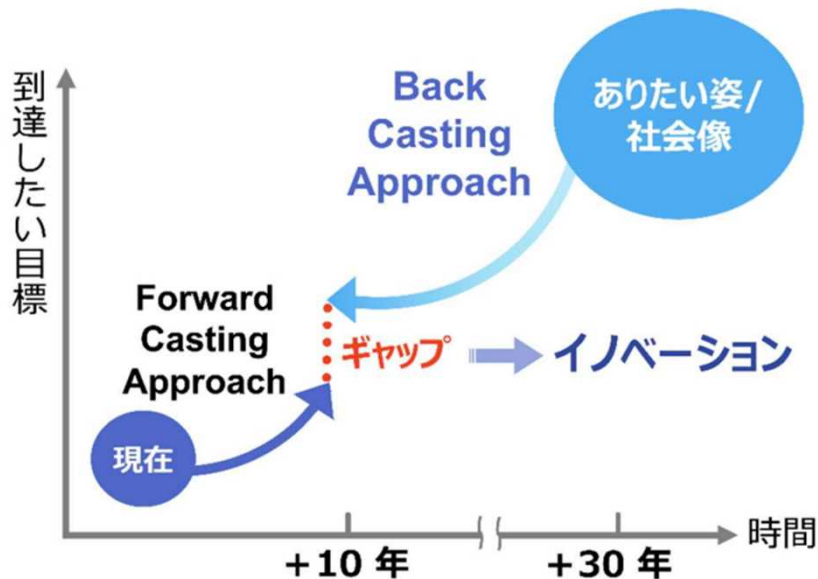
誰も解けなかったことを**解き**、誰も見たことがないものを**創り出す**



社会の進歩に貢献する(**社会が変わる**)

社会を変えるための戦略

ありたい姿・社会像(ビジョン)を的確に描き、現在の延長で予想される到達点とありたい姿に求められる要件のギャップを認識し、ギャップを埋めることに焦点を定めた研究を行う。



← 拠点ビジョン

← 社会を変える駆動力

イノベーションを生むバックキャスティング・アプローチ

COI-NEXTへご提案される皆様へ

イノベーションが誘発され、社会が変わる



誰も解けなかったことを解き、ギャップを埋める成果を得る



未来から逆算して計画を立てるバックキャスト思考で研究開発を行う



拠点ビジョンを的確に定める

徹底的に解像度を上げる

育成期間を行う意味



昇格

研究力を高めるムーブメントを起こす
(ワクワクして研究する社会を創る)



自らの研究が社会を変える醍醐味を経験

社会を変える

研究に10年間のめり込み、結果を出す

ロケットスタートで事業を開始